ＭＳ１５３－２６００１

ハイレスポンスマフラーＶｅｒ.Ｓ

’10.04 施行・後付マフラーに関する新騒音規制対応商品

取付取扱説明書

この度はＴＲＤハイレスポンスマフラーＶｅｒ.Ｓをお買い上げ頂きありがとうございます。
開封時、商品外観の傷、凹み等をご確認下さい。取付け後に判明しましても対応しかねますのでご注意下さい。
本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付は出来ません、取付は車両登録後に行って下さい。

■品番・適合

品 番	適 合 車 種	型 式	エンジン	年 式	備 考
ＭＳ１５３－２６００１	ハイエース レジアスエース	ＴＲＨ２００＃	１ＴＲ－ＦＥ	’０４.０８ ～	＊1 ＊2

＊1 リヤバンパースポイラー:品番 MS313-26001(別売り)との同時装着を推奨します。(必須ではありません)
(同時装着の際はエアロパーツを先に取付けて下さい)

＊2 最新の適合情報はＴＲＤカタログサイトをご覧下さい。 ＜http://www.trdparts.jp/＞

■構成部品

	部 品 名	数 量	備 考
①	センターパイプ	1	＊3
②	ボルト	2	車両パイプ×①締結用 70mm ナット&ワッシャ付き
③	テールパイプ	1	
④	楕円ガスケット	1	
⑤	ボルト	2	①×③締結用
⑥	ナット	2	①×③締結用
⑦	スプリングワッシャ	2	⑤ボルトに使用
⑧	取付取扱説明書（本書）	1	

＊3 純正ガスケット(17451-74040)は同梱されておりません、手配して交換して下さい。

■取付上の注意

（１）本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用いただける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
ＴＲＤエアロパーツとの同時装着は問題ございません。
ＴＲＤ製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おき下さい。

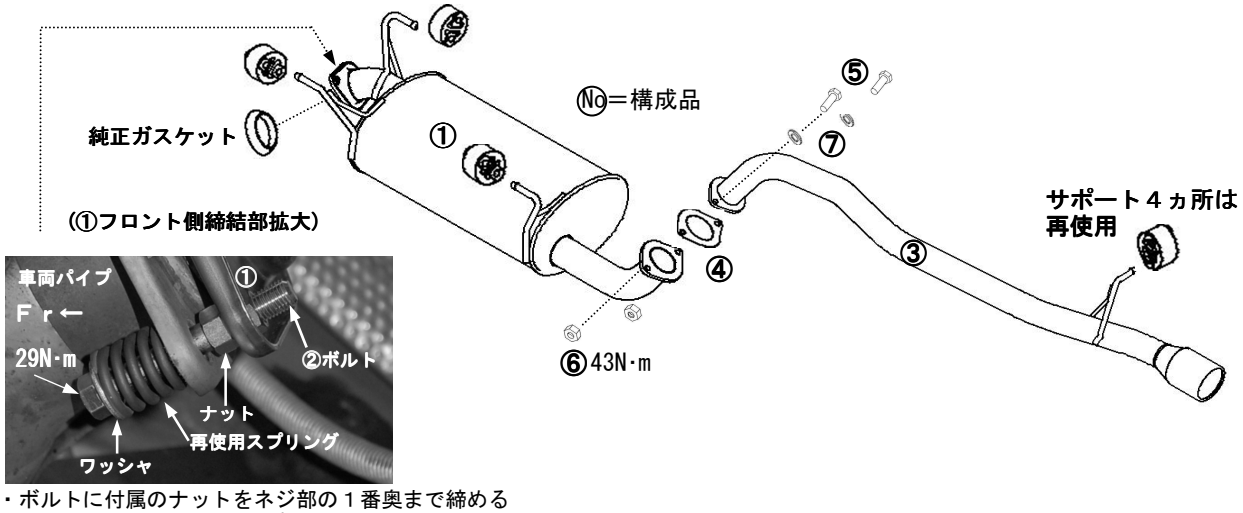
（２）保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず、必ず上記適合車種に取付て下さい。

⚠ 注意（１）本商品の交換、取付作業は必ず設備の整った専門の整備工場で作業を行って下さい。
⚠ 注意（２）交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。（マフラーガスケットに尽いては走行距離に係らず交換して下さい）
⚠ 注意（３）交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
⚠ 注意（４）取付後は換気の良いところで排気漏れや干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。
⚠ 警告（１）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高９０mm（注１）**を確保して下さい。
（注１：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
⚠ 警告（２）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず最低地上高９０mmを確保し、又、路面との干渉にもご注意下さい。
⚠ 警告（３）本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
⚠ 警告（４）本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。

トヨタ テクノクラフト株式会社･TRD
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

構成図　・純正ガスケット品番　１７４５１－７４０４０

・①前側フランジ部のボルトは構成品②に交換、スプリング＆サポート４ヵ所は再使用



・ボルトに付属のナットをネジ部の１番奥まで締める
（ナットが純正ボルトのスプール代わりになります）
・ワッシャの上に再使用スプリングを入れる
・車両パイプフランジ側からボルトを入れ締結する

■仕様

エキゾーストパイプ：テールパイプ部　φ６０．５mm
テール出口部　　：φ９４．０mm

■取付要領

（１）純正のセンターマフラー＆テールパイプを修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従って取外す。

（２）車両フロントパイプに純正ガスケットを入れ、構成品①のセンターパイプを取付けてサポートを掛け、構成品②のボルトで仮止めする（構成品②ボルトの使い方については下囲み文＊と構成図写真参照）

⚠注意：車両側パイプとの締結ボルトは構成品②に交換しスプリング＆サポートは再使用します。
車両側パイプとの締結は仮止めとして下さい。
＊構成品②のボルトに付いているナットはボルトネジの１番奥まで締めて使用して下さい。

（３）①センターパイプ後側フランジ部に構成品④の楕円ガスケットを使用し、構成品③のテールパイプマフラーを取付け、構成品⑤⑥⑦のボルト・ナット・スプリングワッシャで仮止めしサポートを掛ける。

（４）③テールパイプ出口がバンパー及び、他の部位と干渉していない事を確認しながら①センターパイプとの締結部のボルト×ナットを４３Ｎ･mで締付ける。

（５）再度テールパイプ出口部の位置確認後、①センターパイプフロント側と車両フロントパイプ後側の締結部を２９Ｎ･mで締付ける。

⚠注意：最終的にテール出口位置を確認し、極端に片寄り等がある場合は再度２ヶ所の締結部の調整と車両ブラケット側のサポート位置の確認を行って下さい。

（６）装着後、走行する前にアイドリング状態で１５分程の暖機運転を行った後、５Ｋm程の通常走行を実施し、各部ボルトの緩み、テール部の位置等を確認して下さい。

⚠取付上の注意

マフラーサポート（吊りゴム）取外しの際、サポート部に使用した潤滑剤が付着したままですと走行時に横方向の強い力が加わった場合、同時装着のバンパースポイラー等と干渉する場合があります。
サポートゴム取付時に潤滑剤を使用する事はお止め下さい。純正マフラーの取外し時に潤滑剤を使用された時は、フック、サポートゴム共に完全脱脂してから取付けて下さい。
取付け後、マフラーを数回左右に動かしサポートゴムに横ズレが生じない事を確認して下さい。

Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社･TRD
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

⚠警告（１）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高９０mm（注１）**を確保して下さい。
（注１：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）

⚠警告（２）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高９０mmを**確保し、路面との干渉には十分ご注意下さい。

⚠注意（１）取付直後の走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時は整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けますと、破損や事故の原因となる場合があります。

⚠注意（２）本商品を取付ますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。

⚠注意（３）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。

⚠注意（４）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けますと、破損や事故の原因となる場合があります。

⚠注意（５）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。付着したままで御使用になられますと、マフラーの変色および錆の原因となります。

⚠注意（６）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れやお子様の接近等、充分に注意して下さい。

⚠注意（７）通常の使用におきましても排気管出口(テール出口部)は冷熱の繰返しにより、多少の黄ばみが発生する場合がありますが、異常ではありません。

Racing Development
TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社・TRD
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122